

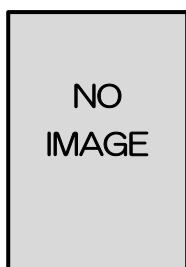


産後パパ育休（出産時育児休業）が始まります！

2022年4月から3回に分けて、育児・介護休業法の法改正が行われます。中でも注目されているのは10月から施行される「産後パパ育休（出生時育児休業）」です。女性の育休取得が社会的に認知されてきているのに対して男性の育休取得は、年々増加傾向にあるものの女性の取得率85.1%に対して男性は、13.97%です。（資料出所：厚生労働省令和3年度雇用均等基本調査より）男性の育休取得は、これからの時代に欠かせない制度です。今回は、男性育休取得推進に繋がる図書をご紹介します。



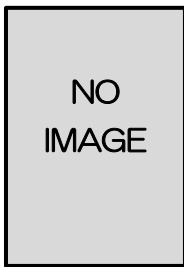
これからの時代の産休・育休



男性育休の教科書

日経 xwoman:編
日経 BP/2021年
<366.3>

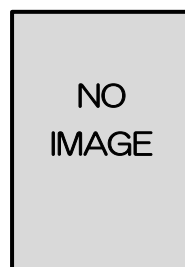
自社の男性育休取得率を上げるには。育休制度の基本や意義を解説し、育休取得を考える社員や家族に向けた手引きを掲載。男性育休率が高い先進企業の取り組みも紹介。



総務担当者のための産休・育休の実務がわかる本

宮武 貴美:著
日本実業出版社/2022年
<336.4>

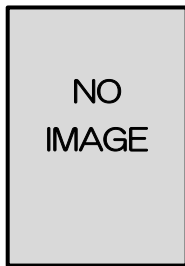
規程の整備から社会保険の各種手続き、従業員への説明まで、育児・介護休業の実務のポイントと現場対応を、自らの産休・育休・復帰の経験も踏まえて、わかりやすく解説する。



男性の育休

小室 淑恵:著、天野 妙:著
PHP 研究所/2020年
<366.3>

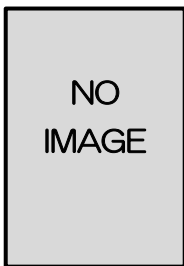
なぜ男性育休が普及しないのかを、2人の著者の専門領域であるダイバーシティ推進・働き方改革の知見を交え、豊富なデータや具体的事例をもとに詳説。



ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方

多賀 太:著
時事通信出版局/2022年
<367.5>

なかなか進まない男性の家事・育児参加。男性稼ぎ手社会を壊すことは、男性の生きづらさも解消する。ジェンダー平等に向けた、本気の働き方・暮らし方改革について考察する。



家族と話し合いをしますか？

斉田 英子:著
PHP 研究所/2021年
<367.3>

キャリア、家事、趣味、子育て…。家族の幸せを最大化するために話し合いをしよう！夫婦関係を円満に保ちつつ、自分のやりたいこと、言いたいことを伝えるコツとスキルを伝授。

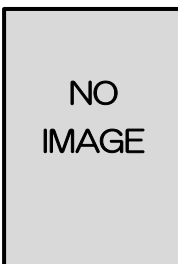


男性育休の困難

齋藤 早苗:著
青弓社/2020年
<366.3>

育休を取得する男性は、ほかの社員からからかわれたり、仕事を盾に「休むこと」を非難される。なぜ男性育休は職場からの逸脱と見なされるのか。

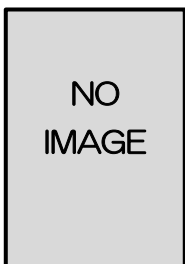
主夫、始めました。



男も育休って、あり？

羽田 共一:著
雷鳥社/2021年
<599.0>

国立大学附属小学校の教師で、その学校では初の男性育休取得者となった著者。育休と向き合った中で何を迷い、感じたのか。育休中に生活をどうマネジメントしていたのか。



主夫をお願いしたらダメですか？

弓家 キョウコ:著
祥伝社/2021年
<599.0>

ちょっと主夫やってみてくれない？元ダイニングバーの店長の夫に家事と育児を任せようになったら…。

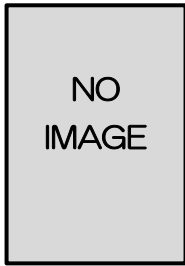


俺は主夫。職業、現役Jリーガー

大久保 嘉人:著
講談社/2021年
<783.4>

プロサッカー選手・大久保嘉人がチーム移籍を機に大阪にて、9歳の三男と父子2人暮らしをスタート！初めての単身赴任、家事力ゼロの著者が、家事と育児に悪戦苦闘の毎日を綴る。

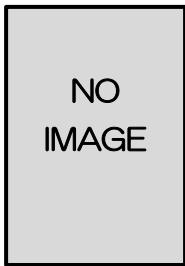
男性育休をテーマとした小説



たてがみを捨てた
ライオンたち

白岩 玄:著
集英社/2018年
<913.6シ>

家事は得意だけど専業主夫にはなりたくない。女性にモテないけど男としては見られたい。強くありたいから弱音を吐けない。今の時代に男らしさって必要？ 男のプライドの新しいかたちを探る物語。



主夫のTomorrow

朱川 湊人:著
NHK出版/2016年
<913.6シ>

働く妻を支え、家事と育児をこなす“主夫” 斉藤知朗(Tomorrow)。自らも作家を志し、日々奮闘するTomorrowに、主夫に対する社会の壁が立ちほだかり…。

秋の読書キャンペーン開催のお知らせ

情報ライブラリーでは、秋の図書貸出キャンペーンを企画中です。10月下旬から、一般図書を5冊以上、借りられた方に景品を差し上げます。
※こちらのキャンペーンは、景品が無くなり次第終了となります。

乞うご期待!



※内容が決まりましたら、HP、Facebook、Twitter、情報ライブラリー入口前に告知ポスター等でお知らせします。

開催!

2022 アピオ秋まつり開催のお知らせ

11月12日(土) 9:30~12:30



今年のアピオ秋まつりは、誰もが自分らしく生きられる「男女共同参画社会」について、県内の活動団体の方々とともに、学び、考え、語り合う場として開催します。会場には、出展団体によるワークショップ・飲食物販売・パネル展示・フリーマーケットなどのブース出展を予定。また、元アナウンサーでエッセイスト、タレントとして活躍されている小島慶子さんの講演も予定しています。みな様のご来館をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部オンラインで実施いたします。

お申込み方法等が決まり

ましたら、HP、Facebook、Twitter、
情報ライブラリー入口前に告知
ポスター等でお知らせします。



令和4年度 第2回上映会開催のお知らせ

アピオあおもいで 12月11日(日)開催!

《上映予定作品》

- 参加費：無料!
- 定員：各回共に30名程度
- 託児：無料、1歳半~就学前迄
(要予約、先着3名)

◆午前の部 上映作品【10:00~11:50】◆

「女たちの都」制作年：2012 制作国：日本/上映時間 103分

かつては漁業で栄えていたが、今は日本一の衰退都市と言われる町で暮らす、ウツボ屋の女房・弓枝(大竹しのぶ)、スナックのママ・ゆり子(松田美由紀)、漁師の妻・俊恵(西尾まり)たちが、愛する町の活性化の為に町おこしに奔走する。

◆午後の部 上映作品【13:30~15:20】◆

「スキャンダル」制作年：2019 制作国：米国、カナダ/上映時間 109分

TVのニュースキャスター、グレッチェン(ニコール・キッドマン)が、アメリカTV業界の大物ロジャー(ジョン・リスゴー)をセクハラ行為で提訴した。スキャンダラスなニュースにメディア界には激震が走る。グレッチェンの行為に様々な憶測が流れる中、看板番組を持つ人気キャスターのメーガン(シャーリーズ・セロン)は、ボスのロジャーに「セクハラなどない」と番組で発言するよう指示を受ける。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる場合もあります。

情報ライブラリー ご利用案内

- ★開室時間 9:00~19:00(日曜・祝日は17:00まで)
- ★休室日 水曜日・年末年始・図書整理日
- ◎貸出をご希望の方は、利用者カード登録が必要です
- ★貸出期間 2週間以内
- ★貸出数/おひとり：
 - (一般図書) 5冊まで (児童図書) 5冊まで
 - (AV資料) 一般・児童各1本まで

〒030-0822 青森市中央3丁目17-1 アピオあおもり内
TEL 017-732-1024 (情報ライブラリー直通)
FAX 017-732-1073
Eメール apilib@apio.pref.aomori.jp
URL http://www.apio.pref.aomori.jp/gender



青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは
指定管理者：未来へつなぐネットあおもりグループが受託・運営しています。

ライブラリーニュース No.44
2022.8発行